

議 事 録

議 題	令和4年度東京都電設協会との意見交換会	
日 時	令和4年 12 月 20 日(火)13:30～15:00	
場 所	東部住宅建設事務所8階会議室	
出席者	■一般社団法人 東京都電設協会	4名
	□東京都住宅政策本部	8名
議 事 内 容		
<p>1 年間発注予定について</p> <p>□ 財務局の入札情報システムに年間発注予定を公表している。併せて、建築工事の発注予定や落札状況も公表しているので、参考としていただきたい。(財務局「入札情報サービス」のホームページを表示して説明)</p> <p>2 週休2日モデル工事について</p> <p>□ 週休2日モデル工事は、発注者指定として今後も発注していく予定であり、ご意見を伺いたい。</p> <p>■ 週休2日工事は、国土交通省や他自治体でも行われている。</p> <p>■ 適正な工期設定にすることであれば、週休2日工事に賛成である。</p> <p>■ 建築工事も含め、現場全体の閉所日を設定することにより、週休2日が達成しやすくなる。</p> <p>■ 若手人材の確保には週休2日が必要なため、モデル工事を拡大してほしい。</p> <p>3 書類削減等生産性向上への取組について</p> <p>□ 書類削減についてご意見を伺いたい。また、都営住宅工事においてもクラウドの利用を試行しており、今後受注者に協力をお願いしたいと考えている。</p> <p>■ 工事写真は膨大な枚数を撮影している。各施工に対する必要枚数が示されれば削減できる。</p> <p>■ 例えば、同じ部材の写真は一度撮れば省略できる等の工夫が必要である。</p> <p>■ 電子黒板は写真整理の軽減により生産性向上につながる。</p> <p>■ クラウドの活用は、書類提出にかかる移動時間が削減され生産性の向上につながる。</p> <p>□ 書類削減への取組として電子マニフェストの利用はどうか。</p> <p>■ 電子マニフェストは書類削減につながるため、仕様書等に条件提示することにより利用を促進することができる。</p> <p>4 遠隔施工管理について</p> <p>□ デジタル技術の活用と遠隔施工管理について、活用例があれば伺いたい。特にオンライン会議での実施や、その印象についてもご意見を伺いたい。</p> <p>■ オンライン会議は、コロナ対策をきっかけに浸透しており、監督員の立会い確認などが遠隔で対応可能になれば日程調整の手間を減らせる。</p> <p>■ 定例会議など、オンラインを活用することで移動時間が減り、生産性の向上につながる。</p> <p>■ 社内講習にて3現場をオンライン中継した実績がある。講習内容を動画で保存したので、若手の技術継承にも活用できる。</p> <p>■ 例えば、隠ぺい部の施工状況を動画で保存することにより、後から確認が可能である。</p>		

5 工事現場における脱炭素化に向けた取組について

- 工事現場での脱炭素化、省エネの取組があれば伺いたい。
- 現場の仮設照明にLEDを採用している。
- タブレットの活用によるペーパーレス化は浸透してきている。
- ユニットケーブルの採用により、部材のロス削減や現場の作業が短縮され脱炭素化につながる。
- 工事用車両のEV化やハイブリット車の採用は費用が高額であり、対応しにくい。

6 その他

- ウクライナ情勢や半導体不足などの影響について伺いたい。
- 建替工事の場合は工期内において早めに材料を発注するため、調整が可能である。
- 電線やケーブルは銅の価格高騰により高止まりしている。昨年は高圧ケーブルが確保できず、工期延伸することもあった。資材価格の高騰は、インフレスライド対応すれば問題ない。
- 民間におけるEV充電設備や若手人材確保の動向について伺いたい。
- EV充電器は設置する充電の目的によって、使い分ける必要がある。
- 景気により人材確保が左右される。